

昨日は東北南部まで梅雨明けとなりました。秋田ももう 2,3 日というところかと思えます。そして大相撲 7 月場所の千秋楽、元大関で序 2 段まで陥落した照ノ富士が堂々の復活優勝を遂げました。優勝インタビューは感動モノでしたね。優勝のかかった一番では、ふつうは故郷の御嶽海を応援するのですが、昨日は照ノ富士に声援を送り、勝って拍手をしました。

さて、今日は 8 月 3 日、普通なら竿燈の初日で秋田市内が最もにぎわう時期です。残念ながら新型コロナウイルス感染症のため、竿燈だけでなく東北 3 大祭り、あるいは 5 大祭りは軒並み中止です。恒例の牛島竿燈会の慰問演技もないのも淋しいですね。当苑入所中の鈴木勇吉・チエさんご夫妻の長男、鈴木茂様の俳句に

竿燈を見上げ改札秋田駅

という一句がありますが、見上げる人も今年は少ないのではないのでしょうか。

同じく鈴木様の句に

半分は雲に吸はれし花火かな

もあの花火の空を思い起こさせます。大曲の花火も中止ですね。でも花火にしても竿燈にしても、常とは異なる状況の下で、様々な小さな工夫が報道されており、それはそれで地域の人々の創造性に気付かせられます。ちょうど私どもの 6 月の運動会のようなものですね。

もう一つ、俳句ついでに、鈴木茂様の「山盛苑」と題する 5 句中の一句を紹介いたします。

母の窓大さ白百合山盛苑

ちょうど今まさに山百合の盛りです。ここに入ってくる左側のスギ林の中の山百合の群生は見事というしかありません。隣の鈴木さんのおばあちゃんが、将に地をなめるように草を取り、雑木を払って花盛りを迎えてくれました。鈴木さんは、山盛苑側に花を楽しめるようにいろいろ工夫してくれていることを感じます。ありがたいことです。

ところで、このところ職員の間でテーマを決めて研究の動きが活発になってきており、大変うれしく思います。私も少しでも役立とうと、この会議室の入り口ですね、本箱を設けてもらって、関連のある図書や一般教養的図書を並べてみました。昨年は入所者さん対象に文庫を設けましたが、職員対象もできて形が整ったというところ。大いにご活用願います。



さて、今日から新しい仲間を迎えることとなりました。後程辞令交付がありますが、石山佳那（かな）さんです。ご存じのように我々の職場は、マンパワーがあっこそ成り立っています。大変喜ばしいことです。石山さんには早く山盛苑に慣れて、新しい風を入れてくれることを期待しております。

それではこの8月、利用者さんともども職員の皆さんも体調管理に気を付けて、夏を乗り切ってくれることを願ひして、8月の全体朝礼挨拶といたします。

今月もよろしくお願いいたします。

利用者さん文庫(令和元年8月28日設置)



職員図書(令和2年7月28日設置)

